

| 教科名                         |   | 【教科:英語科】  | 教科書調査報告(教科書調査委員会)  |
|-----------------------------|---|---|--|
| 発行者名                        |   | 東京書籍  | 開隆堂出版  |
| 調査の観点                       |   |   |  |
| A<br>内容<br>について             | (1)基礎・基本の確実な定着に関する配慮や工夫がなされているか。                    | ・小学校で学習した単語が本文とは別に示されており、復習が容易にできる。   | ・段階的な指導となるよう工夫され、自己表現活動までの流れが分かりやすい。   |
|                             | (2)課題解決のために必要な思考力や判断力、表現力等を育成することに関する配慮や工夫がなされているか。 | ・三つの主要単元において、目的・場面などを意識して活動することに配慮がされている。<br>・Unit ActivityやStage Activityで必要な情報を取り出す力や段階的に自己表現する力を身に付けられる。 | ・全体としてはOur Projectが工夫されている。<br>・自らの考えを表現しやすいようマッピングされ、学習のサポートとして有効である。       |
|                             | (3)資料が精選され、その内容が時代に即応したものになっているか。                   | ・人気のある旅行先やスティーブ・ジョブスなど、生徒が関心のある内容を用いている。  | ・オリンピック・パラリンピック競技が取り扱われている。  |
|                             | (4)持続可能な社会づくりに向けた教育・ESDの視点が入り込められているか。              | ・SDGsのアイコンが明記されており、生徒が資料を活用して「自分にできること」を考えることができる。  | ・日本の伝統文化などを広く取り扱っている。  |
| B<br>使用<br>上の<br>便宜<br>について | (1)児童が主体的に学習を進めやすいような便宜が図られているか。                    | ・単元のチェックボックスや巻末のCAN-DOリスト等があり活用しやすい。<br>・挿絵や図が見やすく配慮されている。<br>・QRコードを活用し復習しやすい。<br>・文法のまとめの練習問題が確認に利用できる。   | ・巻末にある資料が豊富である。<br>・辞書の活用が巻頭にあり指導しやすい。<br>・CAN-DOリストを活用して生徒自身が課題解決の学習を進められる。 |
|                             | (2)多摩市という地域の実態に即しているか。                              | ・小学校と中学校の連携をスムーズにする手引きがある。  | ・RetellとInteractのセクションを活用することで、「話す力」の育成に重点を置く多摩市の取組と関連付けることができる。             |

| 教科名                         |   | 【教科:英語科】  | 教科書調査報告(教科書調査委員会)  |
|-----------------------------|---|---|--|
| 発行者名                        |   | 三省堂   | 教育出版   |
| 調査の観点                       |   |   |  |
| A<br>内容<br>について             | (1)基礎・基本の確実な定着に関する配慮や工夫がなされているか。                    | <ul style="list-style-type: none"> <li>・単元がリスニングから入り、短い英文や会話文、長文の順で構成され、段階的に指導を進めることができる。</li> <li>・小学校外国語活動・外国語科との接続が図られている。</li> </ul>  | <ul style="list-style-type: none"> <li>・日常生活から話題が広がるよう配慮されている。</li> <li>・小学校との接続が意識され、また、家庭学習のサポートが豊富である。</li> <li>・学習のめあてが分かりやすい。</li> </ul>                                |
|                             | (2)課題解決のために必要な思考力や判断力、表現力等を育成することに関する配慮や工夫がなされているか。 | <ul style="list-style-type: none"> <li>・各導入で写真を用いてオーラルイントロダクションが設定されているので、その後の展開がしやすい。</li> <li>・英文が三つのジャンル(会話文・説明文・物語文)で構成され、それぞれに合わせた読み方を指導できる。</li> </ul>                          | <ul style="list-style-type: none"> <li>・各パートからProjectに結び付け、五つの領域を総合的に学習できる。また、協働で学習課題を解決する活動が設定できる。</li> <li>・アクティビティプラスで、英語でのやり取りの即興性を高めることができる。</li> </ul>                 |
|                             | (3)資料が精選され、その内容が時代に即応したものになっているか。                   | <ul style="list-style-type: none"> <li>・文学やアニメ等の題材は内容が扱いやすく安心感がある。</li> <li>・人種差別を取り扱った題材があるなど、人権教育の視点を踏まえた教材を選定している。</li> </ul>  | <ul style="list-style-type: none"> <li>・自然科学や環境、外国の文化など、生徒の興味・関心を高める工夫がされている。情報リテラシーにも言及している。</li> </ul>   |
|                             | (4)持続可能な社会づくりに向けた教育・ESDの視点を取り入れられているか。              | <ul style="list-style-type: none"> <li>・題材は多岐に渡り、多くの国や地域・文化に触れながらSDGsの趣旨を学ぶことができる。</li> </ul>   | <ul style="list-style-type: none"> <li>・日本文化や落語、ジョン万次郎などとともに、食品ロスやゴミ問題等の題材を取り扱っている。</li> </ul>   |
| B<br>使用<br>上の<br>便宜<br>について | (1)児童が主体的に学習を進めやすいような便宜が図られているか。                    | <ul style="list-style-type: none"> <li>・文法のまとめが、振り返りやターゲットセンテンスとの関連を捉える際に参照しやすい。</li> <li>・文字が大きく見やすく、QRコードがある。デジタル・コンテンツを活用した自主学習が可能である。</li> <li>・振り返りシートの活用で自己評価が可能である。</li> </ul> | <ul style="list-style-type: none"> <li>・目次が題材のテーマと文法事項を一覧で示していて使いやすい。</li> <li>・巻末の資料等が豊富で自学自習しやすい。</li> <li>・即興性のあるやり取りが可能である。</li> <li>・QRコードがあり、学びのリンクが充実している。</li> </ul> |
|                             | (2)多摩市という地域の実態に即しているか。                              | <ul style="list-style-type: none"> <li>・第2・3学年のProjectがディスカッションになっており、本市独自に作成した『「話す力(やり取り)』と学ぶ意欲の向上を図るためのカリキュラム』との整合がある。</li> </ul>   | <ul style="list-style-type: none"> <li>・第3学年の最後にディベートが含まれており、「話す力」の育成に重点を置く多摩市の取組と関連付けることができる。</li> </ul>  |

| 教科名                         |   | 【教科:英語科】  | 教科書調査報告(教科書調査委員会)   |
|-----------------------------|---|---|---|
| 発行者名                        |   | 光村図書  | 新興出版社啓林館  |
| 調査の観点                       |   |   |   |
| A<br>内容<br>について             | (1)基礎・基本の確実な定着に関する配慮や工夫がなされているか。                    | <ul style="list-style-type: none"> <li>・インプットからアウトプットへ無理なく内容を扱える。</li> <li>・Part1・2・3・Goalの順に内容が整理され、そのアイコンが可視化されており分かりやすい。</li> <li>・文法事項が適切に配列されている。</li> </ul>   | <ul style="list-style-type: none"> <li>・英文が精選されており、シンプルでオーソドックスである。小学校及び高等学校とのつながりが意識されている。</li> <li>・基本となる文法を繰り返し学習し、定着を図ることができる。</li> </ul>   |
|                             | (2)課題解決のために必要な思考力や判断力、表現力等を育成することに関する配慮や工夫がなされているか。 | <ul style="list-style-type: none"> <li>・付属する帯教材は生徒自身が理解度を確認するために活用しやすい。</li> <li>・会話の中で文法を押さえるよう配慮されている。アウトプットを重視して実践的な英語を学ぶ教材が豊富である。</li> </ul>  | <ul style="list-style-type: none"> <li>・読み取ることを重視している。</li> <li>・スキミングで読み取り、英語の問題に答えることで、日本語を介さずに答えるための思考力を養う工夫がされている。</li> </ul>   |
|                             | (3)資料が精選され、その内容が時代に即応したものになっているか。                   | <ul style="list-style-type: none"> <li>・Unitの後のDaily Lifeには身近な話題が多く、日常的な内容で生徒の学習意欲を高めやすい。</li> </ul>  | <ul style="list-style-type: none"> <li>・日本文化でマンガを扱い、取り組みやすい。防災やアンパンマンなどの題材が身近で親しみやすい。</li> </ul>  |
|                             | (4)持続可能な社会づくりに向けた教育・ESDの視点が入り入れられているか。              | <ul style="list-style-type: none"> <li>・時代を捉え身近な題材を取り入れるなどの配慮がなされ、AIや環境問題もあり、考えを深めることができる。</li> </ul>   | <ul style="list-style-type: none"> <li>・海外や社会とのつながりなどにも言及され、SDGsに配慮されている。防災についても言及され、その際の対応などを考えて協働するための話題もある。</li> </ul>   |
| B<br>使用<br>上の<br>便宜<br>について | (1)児童が主体的に学習を進めやすいような便宜が図られているか。                    | <ul style="list-style-type: none"> <li>・QRコードや文法のページが明記され、アニメーションともリンクされている。</li> <li>・Your Coachで文の書き方や話し方など豊富な知識を得ることができる。</li> <li>・You-Can Do It! 等、タスク型の活動は目新しさがあり、生徒の意欲を高める。</li> <li>・巻末の資料がテスト前や自習などで活用しやすく、目次での目標設定もしやすい。</li> </ul> | <ul style="list-style-type: none"> <li>・QRコードから利用できる音声教材等が活用しやすく、操作性や主体性を発揮できるよう配慮されている。</li> <li>・Targetのまとめが丁寧で生徒の自主的な学習にも活用できる。</li> <li>・目次を見るとこれからの学習に見通しがもてるよう工夫されている。</li> </ul> |
|                             | (2)多摩市という地域の実態に即しているか。                              | <ul style="list-style-type: none"> <li>・学校行事の紹介など生徒が自分の地域に合った内容に置き換えて学習できる。帯活動とのつながりがあり、使いやすい。</li> </ul>   | <ul style="list-style-type: none"> <li>・学習事項が分散され、多摩市の教員・生徒の双方にとって使用上の負担が小さい。自分のまちや学校を紹介するなどの活動が取り入れられている。</li> </ul>   |